



# 熊谷市 記者クラブ取材情報

平成30年6月28日発表  
担当課:スポーツ観光課

事業の名称等  
熊谷うちわ祭について

- 日時 平成30年7月20日(金)～22日(日)
- 場所 熊谷市街地、お祭り広場ほか
- 事業概要  
熊谷で江戸時代から続く八坂神社の祭礼。“関東一の祇園”と呼ばれ、例年、3日間の開催中に約75万人の観光客が訪れる、本市を代表するお祭りです。疫病退散、五穀豊穡など人々の祈りや願いを込めて始められました。名前の由来は、渋うちわを客にふるまったことによります。  
21日、22日には、国道17号を含めた市街地で交通規制が行われ、12台の山車・屋台が勇壮な熊谷囃子を響かせながら巡行します。
- 特徴やPRポイント  
「平成最後のうちわ祭」  
熊谷うちわ祭の歴史と文化を大切にすると共に、天皇在位30周年を奉祝し平成最後の熊谷うちわ祭に花を添えます。  
「巡行祭での一列巡行と奉納囃子」  
本年の7月21日の巡行祭は、各町の山車・屋台が一列で巡行します。各町の山車・屋台を間近で堪能でき、絶好のシャッターチャンスです。また、巡行祭の最後に行宮前で各町の山車・屋台が集結致します。全町が一斉に行宮に向かい奉納囃子を行います。全町揃ってのお囃子の音色をご堪能下さい。  
21日「夜扇」  
埼玉縣信用金庫様が建て替えられ17号国道より熊谷寺の山門がこれまでよりはっきりと見るできるようになりました。本年は銀座区が年番で、銀座区の人形は直実です。21日の夜、毎年八木橋前に集結する全町の山車・屋台は、今年は熊谷寺を向いての叩き合いを行います。
- その他  
熊谷うちわ祭平成30年度年番町 銀座区 大総代 田代充雄(たしろ みつお)

資料の有無(  有 ) ・ 無 )

担当者 熊谷市総合政策部スポーツ観光課 横森、金井  
連絡先 048-524-1111 内線312

受け継がれる町衆の心意気。



# 関東一の祇園 熊谷うちわ祭

熊谷うちわ祭公式ガイド 2018

平成30年 年番町銀座区 大総代 田代 充雄  
お問い合わせ: TEL 048-527-0002 <http://uchiwamatsuri.com/>



7/20 金

御渡祭 / 初叩き合い

21 土

巡行祭

22 日

曳っ合せ叩き合い / 選御祭

## 関東一の祇園 熊谷うちわ祭

うちわ祭は、当地に鎮座する八坂神社のご祭礼です。八坂神社は、文禄年間（一五九二〜）に京都八坂神社を勧請し、現在鎌倉町にある愛宕神社に合祀されたものであります。

熊谷の夏祭りの起源を示す最初の記録は、江戸中期の寛延三年（一七五〇）に、当時各寺社ごとに行っていた祭りを町内統一の祭りとする上申書でありました。町役人の許可により、以来町内全体の祭りとなり、現在の祭りの形態が作られました。

その頃の祭事係は、祭りの期間一躍町役人と同じ力を持ち、祭りのすべてを取り仕切る祭番となり、形態とともに権限も脈々と受け継がれております。

天保年間（一八三〇〜）は祭りの中興の時代といわれ、重き二〇〇貫の神輿が新調され、祭りの原点ともいえる全町合同の神輿渡御が始まりました。

またこの頃より、町内各店が祭りの期間中、買物客に赤飯をふるまった事から、「熊谷の赤飯ふるまい」として評判となり、祭りの名物となりました。

「うちわ祭」の名称の由来は、夏の祭礼で配布されていたうちわを原点として、明治三十五年頃より、料亭「泉州楼」の主人がうちわを配付したことにあったと語り継がれています。東京での修行中に、うちわが飛び交うことで知られていた「天王祭」からの影響を受けた主人は、老舗「伊場仙」から洪うちわを買い入れ、熊谷の祭礼で配り始めたことが発端となっています。この「うちわ」の登場が好評を博し、その後、各商店でも屋号などを記したうちわを出したため、買い物は「熊谷うちわ祭」の日といわれるようになりました。

時を同じくして絹産業などの発展などにより町はにぎわい、各町競って山車・屋台を購入し、神輿渡御と山車・屋台巡行による現在のうちわ祭の原型はこの時に作られ、今日まで続いております。

このように「町民一体として始まった伝統」「江戸からの祭文化の継承」「自ら熱意で祭をつくり上げてきた熊谷人の心意気」が融合し、今や関東一の祇園として発展しております。



## 継 熊谷人の心と誇り

平成三十年 年番町 銀座区

大総代 田代 充雄



本年の「熊谷うちわ祭」の大総代を務めます、年番町銀座区の田代充雄と申します。

疫病退散、五穀豊穡、商売繁盛を祈願して始まった「熊谷うちわ祭」は、八坂神社の祭礼であり、京都八坂神社の「祇園祭」の流れを受け江戸中期（一七五〇年頃）より始まったとされており。

「熊谷うちわ祭」の見どころは、厳肅に執り行われる神々しい神輿渡御及び神輿選御、行宮での神事、勇壮な山車・屋台の巡行等々いろいろありますが、その中でも最も見てほしいものは「曳き合わせ叩き合い」です。全町（十二台）の山車・屋台が集結し、鉦と太鼓を打ち鳴らす様、迫力ある大音響と圧巻なる眺めには魂が揺さぶられ、広場は興奮のつぼと化します。その場に居る人々だけが味わえる感動の時間です。全町の山車・屋台が集結する場は期間中（七月二十日から二十二日の三日間）毎日ありますが、出来るだけ多くの人に見てもらえる様に万全の準備と安全対策、そして時間厳守に心掛けて参ります。

うちわ祭は熊谷の誇りです。「関東一の祇園」と控えめに言ってはおりますが、お雛子は日本一です。この日本一の祭りを継いで行きたい。「熊谷うちわ祭」は熊谷人の心の絆を、世代を超え、時代を超えた繋がりを通して深いものと、熊谷の誇りを共有する場なのです。うちわ祭関係者一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。



# 山車・屋台一覽

## 12 Festival Floats

### 01 第壹本町区



**山車** 製作 明治三十年  
寸法 田四八〇〇 田二七〇 田四、五五〇  
人形 神武天皇  
見送り幕 相冠龍虎

総代長 町田昌之

### 02 第貳本町区



**山車** 製作 天保年間  
寸法 田四八五〇 田二八〇〇 田五、一〇〇  
人形 天手力男  
見送り幕 火焔太鼓と長鳴鳥

総代長 内ヶ嶋 修

### 04 銀座区



**山車** 製作 平成六年  
寸法 田四九五〇 田一九三〇 田五、〇〇〇  
人形 熊谷次郎直実公  
見送り幕 桐と鳳凰

総代長 野本良雄

### 05 彌生町区



**屋台** 製作 大正十七年  
寸法 田四五四五 田三、三〇〇 田四、七二二  
見送り幕 松に鶴、波に亀

総代長 栗原 弘

### 07 伊勢町区



**山車** 製作 平成二十九年  
寸法 田四六五〇 田二、七〇〇 田五、〇〇〇  
人形 弁財天

総代長 高橋宜之

### 08 鎌倉区



**屋台** 製作 昭和二十八年  
寸法 田四七〇〇 田三、五〇〇 田五、〇〇〇  
見送り幕 松と火炎太鼓

総代長 富岡伸夫

### 10 櫻町区



**屋台** 製作 平成六年  
寸法 田四六〇〇 田二、五〇〇 田四、六二〇  
見送り幕 大樹の樫

総代長 戸井田厚志

### 03 筑波区



**山車** 製作 昭和三十六年  
寸法 田四七五〇 田二、七〇〇 田四、七八〇  
人形 日本武尊  
見送り幕 青龍の図

総代長 廣瀬成一

### 06 荒川区



**山車** 製作 平成十四年  
寸法 田四七九〇 田二、九〇〇 田五、五八〇  
人形 大國主命  
見送り幕 双龍

総代長 中島征夫

### 11 本石区



**屋台** 製作 昭和十二年  
寸法 田四九五〇 田三、六〇〇 田五、〇〇〇  
見送り幕 唐獅子牡丹子番し図

総代長 大川隆史

### 09 仲町区



**山車** 製作 昭和三十年  
寸法 田四七〇〇 田二、七〇〇 田四、九〇〇  
人形 美童鳴尊  
見送り幕 天女奏楽図

総代長 柴崎弘之

### 12 石原区



**屋台** 製作 昭和十二年  
寸法 田四九五〇 田三、一〇〇 田四、九〇〇  
見送り幕 鶴と亀

総代長 金井恒訓

# 行事日程

## Schedule



**A** 渡御祭は、発興祭・途上奉幣祭・着興祭の3つの神事で構成され、愛宕八坂神社(本宮)から旧市街地8ヶ町を通り、途中の東西南北4ヶ所で地域を淨め、お祭り広場に設置された御飯屋(行宮)まで神輿が巡幸します。各町の若頭総勢100人が白丁をまわって神輿を担ぎ、木遣りと関係者、観客に見送られ御飯屋に向けて巡幸を始めます。途中、各町が迎え太鼓で神輿を出迎えます。

**A1 渡御発興祭**

時間 AM 6:00~  
場所 愛宕八坂神社(本宮)

**A2 途上奉幣祭**

時間  
場所 市街地一円(4ヶ所)

**A3 渡御着興祭**

時間 AM 10:30~  
場所 御飯屋(行宮)



**B** 全町の山車・屋台は「初叩き合い」の行われる熊谷駅を目指し星川通りに集結します。夕暮れ、提灯に火が灯された山車・屋台の前では各町の纏が振られ、年番町を先頭に星川通りから駅前通りを経由し、熊谷駅東口へと進みます。東口ロータリーを通り北口駅前広場へと移動します。熊谷駅を背に全町が横一列に整列し、勇壮なお囃子とともに「初叩き合い」が始まります。

時間 PM 7:00~  
場所 JR熊谷駅北口



交通規制 PM 1:00~8:00 駅西通り商店街  
PM 6:30~8:00 熊谷駅東口周辺・北口駅前広場から国道17号までの駅前通り

山車・屋台位置情報

7月20・21・22日

山車・屋台位置情報システム / 提供: 立正大学 協力: docomo



**C** 午後より国道17号線は、銀座から石原まで交通規制が敷かれ歩行者天国となり、八木橋デパート前に10ヶ町の山車・屋台が集結します。山車・屋台は国道17号線を西に巡行します。最西端に本石区・石原区の屋台が待機しており、10ヶ町を迎えます。本石区・石原区の2ヶ町も合流し12ヶ町で御宮参りのため御飯屋へ向かいます。御飯屋では各町の山車・屋台が順に神前に進み幣束を授与された後、国道17号線を東へ巡行します。

時間 PM 1:00~PM 4:00  
場所 国道17号



**D** 夕暮れになり、停留していた全町の山車・屋台が動き始めます。昼の巡行祭とは異なり、国道17号線各所で、次々と叩き合いを繰り広げながら巡行します。叩き合いのたびに山車・屋台が合流し、東と西からそれぞれ合流してきた山車・屋台が八木橋デパート前で全町が揃い、扇形となって叩き合いを行います。

時間 PM 6:00~  
場所 国道17号周辺



交通規制 PM 1:00~9:00 国道17号銀座2丁目交差点から石原駅入口交差点・市役所通り  
国道17号南側から路線までの内側市街地

お知らせ

「パーク&ライド」は実施致しませんので、ご注意ください。  
「荒川河畔臨時駐車場」をご利用ください。



**E** 山車・屋台の巡行や勇壮なお囃子のような華やかさはないが、祭りの本質である荘厳な神事の一つです。御飯屋に宮司、関係役員が集まり、神官の浄衣をまとった大総代が御霊の移された神輿を前に自ら祝詞を奏上、玉串を奉奠し、神の加護を祈願します。

時間 AM 9:00~  
場所 御飯屋(行宮)



**F** 午後6時より国道17号線に交通規制が敷かれ、各所で祭りの終わりを惜しむかのようによくの叩き合いが行われます。徐々に12基の山車・屋台が「最後の叩き合い」の地であるお祭り広場周辺に集まってきます。市役所入口交差点で扇形に整列し叩き合いを行った後、お祭り広場の四方で待機し、年番送り最後の叩き合いを待ちます。

時間 PM 8:00~  
場所 お祭り広場



**F1** お祭り広場の四方を山車・屋台が囲み、多くの観客に見守られながら年番町、迎え年番町がステージが上がります。前年大総代による口上の後「年番札」が送り渡されます。再び勇壮なお囃子が夏の夜空に響き、祭はクライマックスを迎えます。

時間 PM 9:00~  
場所 お祭り広場



**G** 還御祭は、発興祭と着興祭の2つの神事で構成され、御飯屋から本宮まで神輿をお返しするための巡幸です。日付も変わる深夜、再び関係者が御飯屋に集まり「発興祭」が執り行われ、午前0時に熊谷祇園会員約300人によって、神輿が本宮まで担がれます。本宮にて最後の神事「着興祭」が執り行われ、3日間におよぶ祭りのすべての祭礼行事が終了します。

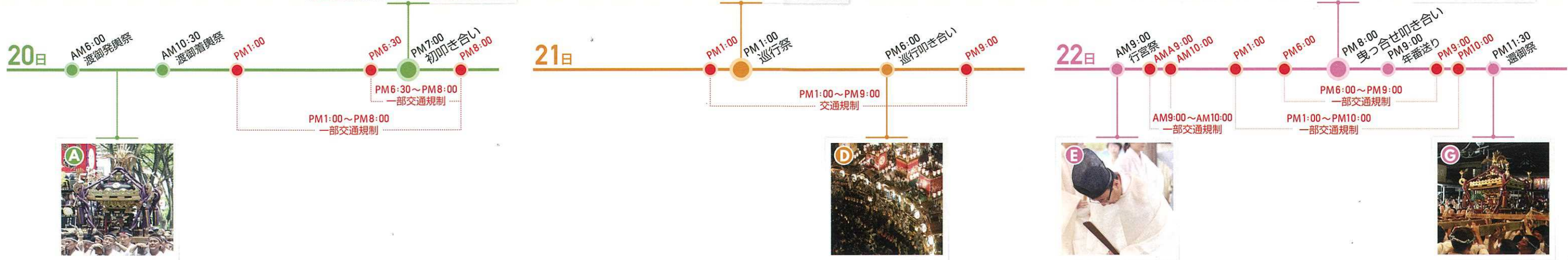
時間 PM 11:30~  
場所 御飯屋(行宮)

交通規制 AM 9:00~10:00 お祭り広場交差点西側  
PM 1:00~10:00 国道17号南側から路線までの内側市街地  
PM 6:00~9:00 国道17号銀座2丁目交差点から石原駅入口交差点・市役所通り

お知らせ

「パーク&ライド」は実施致しませんので、ご注意ください。  
「荒川河畔臨時駐車場」をご利用ください。

# ガイドマップ Guide Map



**5 荒川河畔臨時駐車場** 250台 収容  
PM12:00~PM11:00

QRコードで地図を確認!

私たちは熊谷うちわ祭を応援しています。  
Official Sponsors

			一般社団法人 熊谷市医師会	熊谷市歯科医師会
医療法人 熊谷総合病院	一般社団法人 熊谷薬剤師会	コカ・コーラ ボトラーズジャパン	まっすぐ、あなたへ。 埼玉縣信用金庫	
		一生のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group		
				馬車道
「モラリスト×エキスパート」を育む。 立正大学				

